



D コマンド

この章では、コマンド名が D で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

description (EEM)

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) アプレットに説明を追加するには、**description** コマンドを使用します。

説明を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

description *description*

no description

シンタックスの説明	<i>description</i>	EEM アプレットに追加するコメントまたは説明
-----------	--------------------	-------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	Embedded Event Manager
---------	------------------------

サポートされるユーザロール	スーパーユーザ VDC 管理者 VDC ユーザ
---------------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
------------	--------------------

例	次に、EEM アプレットに説明を追加する例を示します。
---	-----------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet counter-applet
switch(config-applet)# action 1.2 counter name count1 value $variable op dec
Switch(config-applet)# description "counter policy for acme"
switch(config-applet)#
```

diagnostic bootup level

デバイスの起動時に診断がトリガーされるようにブートアップ診断レベルを設定するには、**diagnostic bootup level** コマンドを使用します。

diagnostic bootup level {bypass | complete}

シンタックスの説明		
bypass		ブートアップ診断を実行しないようにします。
complete		すべてのブートアップ診断を表示します。デフォルトは complete です。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、ブートアップ診断レベルを設定する例を示します。

```
switch(config)# diagnostic bootup level bypass
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show diagnostic bootup level	ブートアップ診断レベルを表示します。

diagnostic clear result module

指定されたテストの診断テスト結果を消去するには、**diagnostic clear result module** コマンドを使用します。

```
diagnostic clear result module [slot | all] test {test-id | all}
```

シンタックスの説明

<i>slot</i>	(任意) 診断消去モジュール番号を指定します。範囲は 1 ~ 10 です。
all	すべてのモジュールのすべてのテストの結果を表示します。
test	(任意) 選択した診断テストを表示します。
<i>test-id</i>	(任意) テスト ID。範囲は 1 ~ 14 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

Any モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、診断テスト結果を消去する例を示します。

```
switch# diagnostic clear result module 6 test 6
```

関連コマンド

コマンド	説明
show diagnostic result	指定されたテストの診断テスト結果を表示します。

diagnostic ondemand action-on-failure

オンデマンドテストでエラーが発生したときに実行するアクションを設定するには、**diagnostic ondemand action-on-failure** コマンドを使用します。

diagnostic ondemand action-on-failure {continue failure-count *num-fails* | stop}

シンタックスの説明	
continue failure-count <i>num-fails</i>	テストエラーの回数が制限値に達するまでオンデマンドテストを表示します。範囲は1～999で、デフォルトは1です。
stop	テストエラーが発生したら、ただちにオンデマンドテストを中止します。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、オンデマンドテストでエラーが発生した場合のアクションを設定する例を示します。

```
switch# diagnostic ondemand action-on-failure continue failure-count 992
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show diagnostic ondemand	オンデマンドテストに関する情報を表示します。

diagnostic ondemand iteration

オンデマンド テストの実行回数を設定するには、**diagnostic ondemand iteration** コマンドを使用します。

diagnostic ondemand iteration *number*

シンタックスの説明	<i>number</i>	(任意) オンデマンド テストの実行回数。範囲は 1 ~ 999 で、デフォルトは 1 です。
-----------	---------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	Any モード
----------	---------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
------------	--------------------

例	次に、オンデマンド テストの実行回数を設定する例を示します。
---	--------------------------------

```
switch# diagnostic ondemand iteration 992
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show diagnostic ondemand	オンデマンド テストに関する情報を表示します。

diagnostic start

モジュールのオンデマンド診断テストを開始するには、**diagnostic start** コマンドを使用します。

diagnostic start module slot test [*test-id* | *test-name* | **all** | **non-disruptive**] [**port** *port-number* | **all**]

シンタックスの説明	
<i>slot</i>	(任意) 診断開始スロット番号。範囲は 1 ~ 10 です。
test	診断テストを表示します。
<i>test-id</i>	(任意) テスト ID。範囲は 1 ~ 14 です。
<i>test-name</i>	(任意) テスト名。32 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) で指定します。
all	(任意) すべてのポートを表示します。
non-disruptive	(任意) ノンディスラプティブテストを表示します。
port	(任意) ポートインターフェイスを表示します。
<i>port-number</i>	(任意) インターフェイスポート番号

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュールのオンデマンド診断テストを開始する例を示します。

```
switch# diagnostic start module 6 test all
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic stop	オンデマンド診断を中止します。

diagnostic stop

モジュールの 1 つまたは複数の診断テストを中止するには、**diagnostic stop** コマンドを使用します。

diagnostic stop module slot test [test-id | name | all]

シンタックスの説明	
<i>slot</i>	(任意) スロット番号を表示します。スロットの範囲は 1 ~ 10 です。
test	診断テストを表示します。
<i>test-id</i>	(任意) テスト ID。テスト ID の範囲は 1 ~ 14 です。
<i>test-name</i>	(任意) テスト名。32 文字以内の英数字のストリング (大文字と小文字を区別) を指定します。
all	(任意) すべてのモジュールのすべてのテストについて診断テストを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード Any モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、モジュールの 1 つまたは複数の診断テストを中止する例を示します。

```
switch# diagnostic stop module 6 test all
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	diagnostic start	1 つまたは複数の診断テストを開始します。

diagnostic test simulation

モジュールのテスト結果をシミュレートするには、**diagnostic test simulation** コマンドを使用します。

diagnostic test simulation module *slot* *test* *test-id* {**fail** | **random-fail**| **success**} [*port number* | **all**]

シンタックスの説明

<i>slot</i>	診断テストシミュレーションのスロット番号。範囲は1～10です。
test	診断テストを表示します。
<i>test-id</i>	テストID。テストIDの範囲は1～14です。
fail	エラーが発生したテストの結果を表示します。
random-fail	エラーが発生したテストの結果をランダムに表示します。
success	合格したテストの結果を表示します。
<i>port number</i>	インターフェイスポート番号を表示します。
all	すべてのモジュールのすべてのテストの結果を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

Any モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、テスト結果をシミュレートする例を示します。

```
switch# diagnostic test simulation module 2 test 2 fail
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
diagnostic test simulation	テスト結果をシミュレートします。